

米子工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	ドイツ語Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0100		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	ドイツ語ナビゲーション3 0 Navigation ins Deutsch 3.0 朝日出版					
担当教員	中島 美智子,森田 典幸,酒井 康宏,青砥 正彦,鈴木 章子,渡邊 眞子					
到達目標						
ドイツ語Ⅰで習得した文法の知識をもとに日常使える会話を中心に文法力もさらに深めていきます。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日常会話表現を使うことができる		日常会話表現を理解できる		日常会話表現を理解できない	
評価項目2	文構造の理解を深め実際に使えるフレーズを使うことができる		文構造の理解ができる		文構造の理解ができない	
評価項目3	ドイツ語圏の文化、経済をよく理解している		ドイツ語圏の文化、経済を理解している		ドイツ語圏の文化、経済を理解できない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 E-1						
教育方法等						
概要	挨拶から日常会話レベルまですぐに使える基本フレーズを広げながら、ヨーロッパにおけるドイツの経済、文化、生活に触れていきます。					
授業の進め方・方法	授業に積極的に参加することが一番。 日常会話を楽しく学びます。					
注意点	欠席オーバーにならないよう、楽しく学んでください。時間に遅れないこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	挨拶, 名前を言う・聞く		挨拶, 名前を言う・聞くを理解する	
		2週	人称代名詞、現在人称変化（規則動詞）、語順		人称代名詞、現在人称変化（規則動詞）、語順を理解する	
		3週	現在人称変化（不規則動詞）、否定のnicht		現在人称変化（不規則動詞）、否定のnichtを理解する	
		4週	名詞の姓、格		名詞の姓、格を理解する	
		5週	定冠詞、不定冠詞、否定冠詞、複数形		定冠詞、不定冠詞、否定冠詞、複数形を理解する	
		6週	前置詞の各支配		前置詞の各支配を理解する	
		7週	数字		数字を理解する	
		8週	前期中間試験		これまでの内容の理解ができる	
	2ndQ	9週	所有冠詞、人称代名詞（3, 4格）3格を取る動詞		所有冠詞、人称代名詞（3, 4格）3格を取る動詞を理解する	
		10週	話法の助動詞		話法の理解ができる	
		11週	未来形		未来形の理解ができる	
		12週	動詞の3基本形、過去形、完了形		動詞の3基本形、過去形、完了形の理解ができる	
		13週	時刻、非人称のes		時刻、非人称のesの理解ができる	
		14週	前期末まとめ		これまでの内容の理解ができる	
		15週	前期の会話のまとめ		これまでの内容の理解ができる	
		16週	前期末復習		これまでの内容の理解ができる	
後期	3rdQ	1週	ドイツの紹介、プレゼンをしてみよう！		場面に応じた会話ができる	
		2週	プレゼン2		場面に応じた会話ができる	
		3週	分離動詞、非分離動詞		分離動詞、非分離動詞を理解する	
		4週	現在完了形		現在完了形を理解する	
		5週	従属接続詞、間接疑問文		従属接続詞、間接疑問文を理解する	
		6週	再帰動詞		再帰動詞を理解する	
		7週	後期中間試験		これまでの内容の理解ができる	
		8週	形容詞の変化		形容詞の変化を理解する	
	4thQ	9週	比較級、最上級		比較級、最上級を理解する	
		10週	zu不定詞句、受動態		zu不定詞句、受動態を理解する	
		11週	命令形		命令形を理解する	
		12週	関係代名詞、指示代名詞		関係代名詞、指示代名詞を理解する	
		13週	接続法		接続法を理解する	
		14週	後期のまとめ		これまでの内容の理解ができる	
		15週	学年末試験		これまでの内容の理解ができる	
		16週	1年のまとめ		これまでの内容の理解ができる	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前5,前9,前13,後2,後6,後10	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前2,前6,前10,前14,後3,後7,後11	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前3,前7,前11,前15,後4,後8,後12	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前4,前8,前12,後1,後5,後9,後13,後14,後15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他出席、提出物	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0